

# 2020年循環型有機農業ポイント研修のご案内

NPO法人民間稲作研究所（栃木県河内郡上三川町鞆堂72）

TPP発効以降、イネ・麦・大豆・油糧作物など主要農作物の自給率が後退し、除草剤グリホサートなどのプレハーベスト農薬の残留基準が緩和され、遺伝子組み換え・ゲノム編集などの安全宣言で遺伝子汚染された小麦や大豆・ナタネなどが大量に輸入されるようになってきました。自給率も37%となり農業者も激減する時期を迎えつつあります。こうした危機的状況を



克服するために当会は学校給食への提供を目的とした「低コスト・小力の循環型有機農業（イネ・麦・大豆・なたねの輪作）」の技術確立と普及に取り組んでいます。

当会の技術支援によって兵庫県豊岡市や千葉県いすみ市などで学校給食に有機米などを提供する事業が成功して大きなインパクトを全国に与えてきました。この活動は、アトピー性皮膚炎や発達障害などに悩む乳幼児・児童生徒たちをこれ以上増やしたくないというご父兄の願いに答える営農活動です。同時に、田んぼが育む多様な生き物が再生する仕組みを体験する運動でもあります。特に化学肥料を一切使用しないことによって、低投入でありながら土壌微生物の活力が増し、安定多収をもたらす革新的農業技術です。

当会が提案する農法は①田んぼに入らず雑草の発生を抑制する抑草技術。②生物の多様性を豊かにして害虫の加害を防ぐ生物多様性害虫防除（IBM）。③田植機を使った成苗の1本植とその育苗技術 ④大豆やナタネの搾り粕を原料とした有機肥料によって健康なイネを育て、病害を避けながら安定多収を実現する内部循環型有機農業です。この技術の習得には最低でも3年間に亘る現地での実践的学習が必要不可欠です。

現在、循環型の有機農業による地域おこしを考えているアジアの国々（ブータン王国など）や国内の自治体（千葉県木更津市）・家族経営の崩壊を食い止め、地域の農業や生物の多様性を守ろうと頑張っている有機農家や市民のみなさんが中心となって「学校給食に有機米を」というスローガンで取り組みが始まりました。

その要望に答えるために、今年度はよつ葉生協やパルシステム事業連合、パタゴニア日本支社などのご支援頂きながら全国5か所でポイント研修を実施することといたしました。

この事業は農水省の有機農業支援政策にも位置付けられ、学校給食への提供事業経費・技術習得やJAS有機認証経費、有機栽培耕地に10aあたり12,000円の助成金が出るようになりました。是非ご活用の上、ご参加下さい。（申込書は裏面です）

## 2020年春期講習会及びポイント研修会参加申込書

ご氏名		メール	
		携帯	
ご住所	〒		
関心の強い内容	1 成苗1本植の育苗技術 2 生物の多様性を育む圃場管理 3 肥培管理技術 4 田んぼに入らない抑草技術 5 子どもの健康と学校給食		

### 春季講習会申込書

参加費（会員 3,000 円、非会員 4,000 円 参加希望欄に○印をつけて 0285-53-1133 に FAX して下さい）

日時		参加希望欄	開催地	会場	講師(予定)	内容
1/19 (日)	13:30 ~ 16:00	<input type="checkbox"/>	栃木県	有機農業技術支援センター 栃木県河内郡上三川町下神主 233	稲葉光國 五十畑匠	①ゲノム編集による新品種による汚染を避けるための有機種子供給センターの事業について
1/25 (土)	10:00 ~ 12:00	<input type="checkbox"/>	新潟県	燕三条地場産業振興センター 新潟県三条市須頃 1 丁目 17 番地	佐藤繁男 石塚浩二	
2/15 ~ 16	13:00 ~ 21:00	<input type="checkbox"/>	栃木県 宇都宮市 コン セーレ	NP〇法民間稲作研究所公開シンポ 川田龍平氏講演「いのちを守る国へ」	5名のリレー トーク	②学校給食有機100%提供運動について
	9:30 ~ 12:00	<input type="checkbox"/>		循環型有機農業実践事例報告会	5名の成功事例	
2/22 (土)	13:00 ~ 16:00	<input type="checkbox"/>	栃木県	トコトコ大田原(市民交流センター3F) 栃木県大田原市中央一丁目 3-15	古谷慶一 稲葉光國	③5.5葉1本苗のプール育苗技術 ④田植後、草取りしない抑草技術
2/29 (土)	13:00 ~ 16:00	<input type="checkbox"/>	岩手県	一ノ関北部農業技術開発センター	稲葉光國 國母克行	
3/8 (日)	13:00 ~ 16:00	<input type="checkbox"/>	滋賀県	草津アマカホール 草津市草津 3 丁目 13-30 2 階	稲葉光國 中道唯幸	⑤民稲研 1 号による肥培管理技術
3/14 (土)	13:00 ~ 16:00	<input type="checkbox"/>	長野県	木島平村農村交流館 長野県下高井郡木島平村上木島 1762	館野廣幸 佐藤繁男	⑥循環型有機農業の栽培技術

### ポイント研修申込書

各会場とも受講料 5,000 円/1 回 午前 10:00~午後 5:00 終了となります。栽培マニュアルを配布いたします。出席する予定の地域と日時を○で囲んで下さい。後日 開催場所・日程などをお知らせ致します。

会場	北海道	東北		関東		関西	研修内容
		新潟県	福島県	栃木県	千葉県	滋賀県	
交渉中	交渉中	交渉中	須賀川市	上三川町	木更津市	交渉中	1 生物多様性を育み抑草を成功させる土づくり・圃場整備と安定多収の肥培管理・1 回目代掻き 2 種子の選抜とポット 1 粒播きによる育苗準備
第 1 回	4/29	4/26	4/4	4/11・12	3/13	4/28	
第 2 回	6 月上旬	5 月下旬	5 下旬	6 月上旬	5 月中旬	6 月上旬	3 成苗 1 本植の育苗技術 4 抑草を成功させる 2 回目代掻きと田植作業の留意点
第 3 回	6 月下旬	6 月中旬	6 月下旬	6 月中旬	6 月上旬	6 月中旬	5 田植後の水管理と肥培管理 6 生物多様性病虫害防除 7 麦跡の有機稲作
第 4 回	7 月下旬	7 月中旬	7 月上旬	7 月上旬	7 月上旬	7 月上旬	8 有機大豆の栽培上の留意点 9 栄養診断と茎肥・実肥・田んぼの生き物(害虫・益虫)調査
第 5 回	9 月下旬	10 月上旬	10 月中旬	10 月下旬	9 月下旬	9 月下旬	10 麦・なたねの有機栽培 11 イネの収量調査と栽培成果・課題解決に関する意見交換